

たんぽぽだより



2022年4月20日 発行 337号

社会福祉法人龍鳳 たんぽぽ

〒176-0001 練馬区練馬 2-14-9

TEL03-5946-3588

<http://www.fukushiryuhoh.or.jp/tanpopo/>

新年度スタート！！ ～明るい1年になりますように～



生活介護作成 桜並木

お花見の代わりに好きなことや願い事を書いて、みんなで桜の花を咲かせました。

- ディズニーランドに行きたいです
- お母さんが早く元気になりますように
- お仕事をがんばります
- お花見に行きたいです
- 私も親もみんなも、世界も平和になりますように

たんぽぽのみんなの笑顔があふれる1年間になるよう、職員一同、力を合わせて支援させていただきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

2022年度 たんぽぽスローガン

しゃかい いちいん かがや
社会の一員として 輝くために

ちょうせん つづ
挑戦し続けよう！



5月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2 たんぽぽ休み	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7 開所日 13:00 帰り
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28 開所日 13:00 帰り
29	30	31				

～春の防災訓練～



3月17日(木) 地震とその後の火災を想定しての防災訓練を行いました。

前日の16日には東京でも大きな地震があり、皆さん 真剣な面持ちで訓練に参加していました。火災発生場所は2階洗濯室で、中階段に煙が充満してしまい使用不可能と仮定し、生活介護の皆さんは外階段を使って外に出ました。また、落下物から頭部を守るという目標を掲げ、ヘルメットを着用しての避難としましたが、とても落ち着いて行動することができました。今後も“練習してよかったね”と思えるよう、訓練を重ねていきます。



2022年度 たんぽぽの取り組み

たんぽぽは「社会福祉法人 龍鳳」の**基本理念**に則り、

- 利用者様の心と体をもっとも大切に考え、自立と社会参加を援助します。
- 利用者様一人一人のもつ能力や才能を存分に発揮できるよう努めます。

【就労継続支援 B 型】 9:00~16:00

	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~ 12:00	作業 (軽作業 ・自主製品等) (公園清掃)	作業 (軽作業 ・自主製品等) (図書館清掃)	作業 (軽作業 ・自主製品等) (公園清掃)	作業 (軽作業 ・自主製品等) (図書館清掃)	作業 (軽作業 ・自主製品等) (公園清掃)
午後 13:00 ~ 15:00	作業 (軽作業 ・自主製品等) (月1回・サンライ フ練馬トイレ清掃)	作業 (軽作業 ・自主製品等)	作業 (軽作業 ・自主製品等)	作業 (軽作業 ・自主製品等) (アパート清掃)	作業 (軽作業 ・自主製品等)

- ・年齢や体力、特性などを考慮しながら、一人ひとりに合わせた作業を提供しています。
- ・一日の活動の振り返り・・・15:10~15:30 一日の活動記録を記入します。
- ・掃除・・・15:30~15:50 分担して、館内を清掃します。

【生活介護】 9:00~16:00

	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~ 12:00	音楽療法 a. 個別 b. グループ	a. 調理話合い コミュニケーションゲーム b. 調理実習	作業 (自立課題 ・手工芸 ・軽作業等)	・レクリエーション(書道・造形・カレンダー作り) ・ウォーキング	作業 (自立課題 ・手工芸 ・軽作業等)
午後 13:00 ~ 15:00	運動プログラム (ウォーキング ・室内運動)	作業 (自立課題 ・手工芸 ・軽作業等)	農園芸 (雨天時はペットボトル洗い・つぶし) ・ペットボトルを回収ボックスに捨てる。	作業 (自立課題 ・手工芸 ・軽作業等)	健康管理 (毎週 看護師) (隔月 嘱託医) バイタルチェック ストレッチ

- ・音楽療法・・・月曜午前、個別の音楽療法(講師と共に)とグループ音楽活動を行います。
- ・作業・・・お一人お一人に合った自立課題や手工芸・作業等に取り組んでいただきます。
- ・調理・・・毎週火曜日、調理についての話し合いと調理実習を交互に行います。
- ・一日の活動の振り返り・・・15:00~15:30 一日の活動記録を記入します。

2022
たんぽぽスローガン

社会の一員として輝くために、挑戦し続けよう!

令和4年度がスタートします

桜の花はいつものように満開となり、やわらかく温かみのあるその風情がこの春の新たな門出を演出してくれているような感じがします。利用者さんから「さくら、さくら」「さくらきれいだね」と声が聞こえてきました。

この数年で当たり前のように日常は大きく変わり、誰もが思うような生活が出来なくなりました。利用者さんにとって、外出もできない、行事もない、仲間とのおしゃべりも楽しめない、つまらない一年になっているかもしれません。

私たちが好きなことができず、休日のたびに何をしようかと考える状態ですが、家族との時間を増やしたり、家で片づけをしたり、今までとは違う過ごし方がメリットとなる部分が出てきました。ピンチはチャンスという言葉もありますが、コロナ禍をこれまでを見直す良い機会と捉え、行事や外出に頼らずに利用者さんには今まで以上に、お仕事・活動への楽しさや充実感、やりがいを感じていただける時間を提供していきます。

生活様式も変わり、リモートでの在宅ワークやウェブ会議なども広がりました。直接の支援のような対人的な仕事には向いていませんが、研修などはパソコンを通じて受講することが当たり前となっています。個別支援計画の面談を電話やテレビ電話などでもご協力していただきました。確かに効率的で安全も確保されていると思います。

しかし、電話や画面越しでは、伝わらないものがあると感じています。その場の空気感や本人の表情、周りの人たちの反応などです。今は働き方改革もあり、効率や安全面を重視しているのかもしれませんが、それが当たり前になってしまうのは違うような気がします。今は仕方ありませんが、ご家庭と利用者さんと顔を合わせ、自分の目で確かめ、肌で感じていきたいと思っています。

また、私たち支援者は「この利用者さんはこうだ」「〇〇は無理だろう」という思い込みを捨て、利用者さんのよき理解者として「できるかもしれない」「ちょっとせんしてみよう」を基本として、実現するためにどういった支援をするのかを考え、私たちの知らない利用者さんの一面や強みを見つけていきます。

本年度は、左記の「2022年度 たんぽぽの取り組み」について、感染防止対策を講じながら活動していきます。「社会の一員として輝くために、挑戦し続けよう！」をスローガンに、利用者さんと職員が心をつにし、経済的余裕をもっていただけるように工賃向上、個々に合った支援・活動の充実、明るく、楽しく、笑顔で過ごすためには、何が出来るかを第一に考え行動することを目標に頑張っ

サービス管理責任者 北久保 克実